

伊藤卯四郎氏がメーデー行事に就ての質問に答へた際言過し、メーデーに於ける労働者の示威行列を以て一面觀兵武の様なものだと謂ふ意味の言葉があつたのを指さしたものである。此の伊藤氏の答辯は八月十一日協進労働組合年次大會に於て、小林五郎氏が其の祝辭演説で批難した爲に之を傳へ聞いた組合會議九州地方協議會側では、既に八月二十一日總同盟九州執行委員會の席上で之を問題として次の決議報告があり、小職に對しては之れより先八月十五日付を以て通告があつたのである。○八月二十一日總同盟九州執行委員會議事報告抜萃

報告第九號第四回勞資懇談會

九州聯合會第五回年度大會に於ける決議に依つて提唱された勞資懇談會は福岡市に於て全國に魁けて開催されて以來、産業協力運動はその道程に於て必然的に勞資懇談會に具體化さ

るべきが確認されて全國的に波及し、福岡縣地方に於ては益々盛會に備され、六月に催された第四回目の會合には参加する事業主が多すぎる程で會場の決溢を感じられる位であつた第五回の會合が來月下旬に催される計畫であると聞いてゐるか、來年度の豫算編成を見るに内務省でも國家産業の確實なる發展の爲にこの懇談會を支持し、これに對する費用を計上するに至るまでにこの會合が社會的に重視されるに至つたのに、甚だ心外なことには、懇談會席上で勞資双方が如何なる意見でも大膽に、素直に披瀝し合ふことにこの會合本來の意義があり、その代りに懇談會席上の意見を他日の言質にせず曝露しないことが申し合せになつて居り、この紳士協約の上に勞資双方の信頼が生じて今日の盛會を來してゐるのであるが、福岡の第四回の會合に出席してゐた者の中から、會場で